

がん・生殖医療連携会議

/Oncofertility Consortium JAPAN 2016 Meeting準備会議

平成28年度厚生労働科学研究補助金（がん対策推進総合研究事業）
総合的な思春期・若年成人(AYA)世代のがん対策のあり方に関する研究

H27-がん対策-一般-005

班長：国立名古屋医療センター臨床研究センター長 堀部敬三先生

岡山における「がんと生殖医療」の動向

岡山大学大学院保健学研究科 岡山大学病院産婦人科
岡山大学生殖補助医療技術教育研究センター
中塚幹也



生殖小班

聖マリアンナ医科大学医学部
岐阜大学大学院医学系研究科
岡山大学大学院保健学研究科
長崎大学医学部付属病院
滋賀医科大学医学部
埼玉医科大学総合医療センター
岐阜大学大学院医学系研究科

・産婦人科学
・産科婦人科学分野
・生殖医学
・産婦人科、生殖内分泌学
・産婦人科学
・産婦人科学
・産科婦人科学分野

鈴木 直
古井 辰郎
中塚 幹也
北島 道夫
木村 文則
高井 泰
森重健一郎

卵巣の凍結保存計画

抗がん剤影響防ぐ 戻して妊娠も

岡山大病院産科婦人科の中塚幹也講師(四巴)の研究グループが、抗がん剤治療のダメージから生殖機能を守り将来の妊娠を可能にするため、卵巣組織を摘出して一時的に凍結保存する計画を同大倫理委員会に申請。二十七

日、承認された。同科は「卵巣凍結保存は国内では他に聞いたことがない」としている。同科は、患者が完治した場合に、凍結保存していた卵巣組織を解冻し体内へ戻すことを今後検討する。

計画では、対象となる女性の疾患は、抗がん剤の副作用で排卵できず生殖機能が損なわれる恐れがある悪性リンパ腫や白血病など。適応年齢は定めていない。腹腔鏡で卵巣の一部を取り出し、液体窒素を使用して凍結保存する。凍結中、安全性を確かめるため、解冻して卵子の形状やホルモン分泌の有無を調べる。

理委員会に申請。二十七

放射線治療女性の不妊防止

卵巣凍結保存を承認

院初 学内 大委 大國 山理 岡倫

岡山大学院医歯薬学 科倫理委員会は

治療開始が遅れる問題が ができ、将来に選択肢も 残せる」と話している。

んの放射線治療 ける女性患者が 不妊にならない 前に卵巣を摘出 保存する臨床研

卵巣を摘出し液体窒素 で凍結保存すれば、緊急 を要する治療にも対応で きる。卵巣は二つあるた め、受ける影響の程度に

月、凍結保存した卵巣を 体内に戻した女性が世界 で初めて女兒を出産して いる。

【四谷寛】

2005年

岡山大病院きよつネットワーク発足

がん患者らが抗がん剤投与や、放射線治療を受けた結果、生殖機能が低下して妊娠ができなくなるのを防ぐと、岡山大病院（岡山市北区鹿田町）は22日、診療科の枠を超えた医師による「がん患者の生殖医療を考えるネットワーク」を発足させる。生殖医療に関する情報を共有し、卵子や精子、卵巣自体の凍結保存を望む患者をスムーズに産科婦人科に紹介する体制づくりを目指す。（内田圭助）

ネットワークでは同大病院産科婦人科や岡山市内の不妊治療専門クリニックの医師が、同大病院の乳腺・内分泌科▽整形外科▽血液・腫瘍内科▽形成外科▽泌尿器科の医師十数人と連携する。

同大病院によると、将来的に妊娠の可能性があるがん患者には、治療で生殖機能が低下するケースがあるものの、卵巣や精子などを凍結保存しておけば、出産できる可能性があることを伝えるべきと関連学会が定めている。だが従来、国内医療機関では凍結保存の説明が不十分な場合もあったという。

同大病院では卵子凍結を担う産科婦人科と、乳がん治療などを行う乳腺・内分泌外科などが今までも連携しており、患者を紹介するだけでなく、精神的な

スムーズに産科紹介

精子や卵子の凍結保存

支援という面でも協力してきたが、より強固で広範囲な協力体制づくりに向け、ネットワーク発足を決めた。

当面は同大病院や関連病院内で賛同者を増やすほか、会則づくりを進めた上で、来年1月に初会合を開く。

同大病院での卵子や卵巣の凍結保存は主に、安全性を確かめる臨床研究として、それぞれ数人に実施している。今後は患者に必要な支援策や抗がん剤が生殖機能に与える影響といった研究も行うため、同大倫理委員会に包括的な研究の実施を申請する。

同大病院内のネットワークは「勉強会などの医療機関の医師に求められるよう努めている。

2013年



岡山大学病院

2005年以降の紹介の流れ

岡山大学病院

相談

岡山県
不妊専門
相談センター



2013年以降の紹介の流れ

岡山大学病院

2013年 医農連携

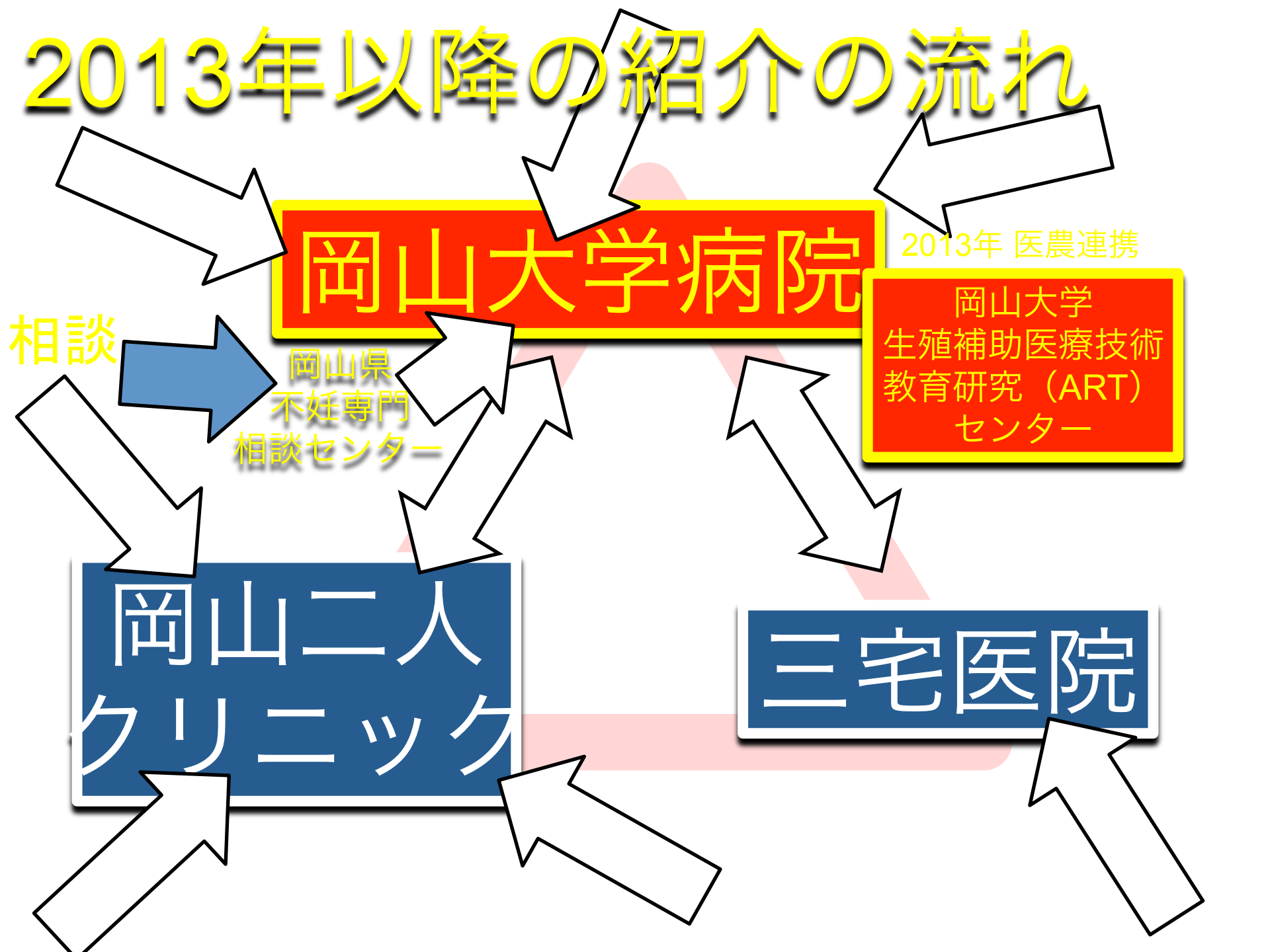
岡山大学
生殖補助医療技術
教育研究 (ART)
センター

岡山県
不妊専門
相談センター

岡山二人
クリニック

三宅医院

相談



「がんと 生殖医療」

日時:2016年3月13日(日)

13:00 - 15:50

会場:岡山大学鹿田キャンパス
医学部保健学科棟3階 301大講義室

悪性腫瘍や自己免疫疾患などに対する化学療法や放射線療法により、精巣や卵巣の機能が低下すると、子どもを持つことが困難になる場合があります。将来の妊娠に備えて、治療の開始前に精子や卵子、あるいは、卵巣組織を凍結保存しておくことで、妊孕性を温存することが可能になります。

岡山県でも、このような取り組みが行われていることを多くの方に知っていただくために講演会を企画しました。

参加費 無料
駐車券あり

お気軽にご参加ください。

岡山における「がんと生殖医療」の動向

岡山大学大学院保健学研究科・岡山大学病院 産婦人科
岡山大学生殖補助医療技術教育研究(ART)センター 中塚幹也

精子凍結保存の現状と課題

岡山二人クリニック 羽原俊宏

岡山大学生殖補助医療技術教育研究(ART)センター

胚・卵子・卵巣凍結の現状と課題

岡山大学病院 産婦人科 鎌田泰彦

体外卵胞発育(IVG)の現状と可能性 高山 修
ヒト卵巣組織のガラス化保存技術 本橋秀之

がん化学療法と妊孕性～看護師の立場から～

岡山赤十字病院 がん化学療法認定看護師 岡本みどり

乳がんの治療・予後と生殖機能への影響

岡山大学病院 乳腺・内分泌外科 乳がん治療・再建センター 枝園忠彦

乳がん患者に対する妊孕性保持支援の取り組み

岡山大学病院 乳がん看護認定看護師 露無祐子

がんと生殖医療のネットワーク 岐阜モデルの現状

岐阜大学大学院医学系研究科 産科婦人科学 古井辰郎

総合討論
(20分)

岡山大学大学院保健学研究科 育成プログラム事務局
〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1
Phone & Fax:086-235-6538
E-mail:josan@cc.okayama-u.ac.jp

助産ネットURL: <http://www.okayama-u.ac.jp/user/josan/index>

岡山大学生殖補助医療技術教育研究(ART)センター
生殖医療サポーターの会OKAYAMA

岡山県不妊専門相談センター「不妊・不育とこころの相談室」

リプロ
カフェ

研修会

ネットワークの運営体制(1)

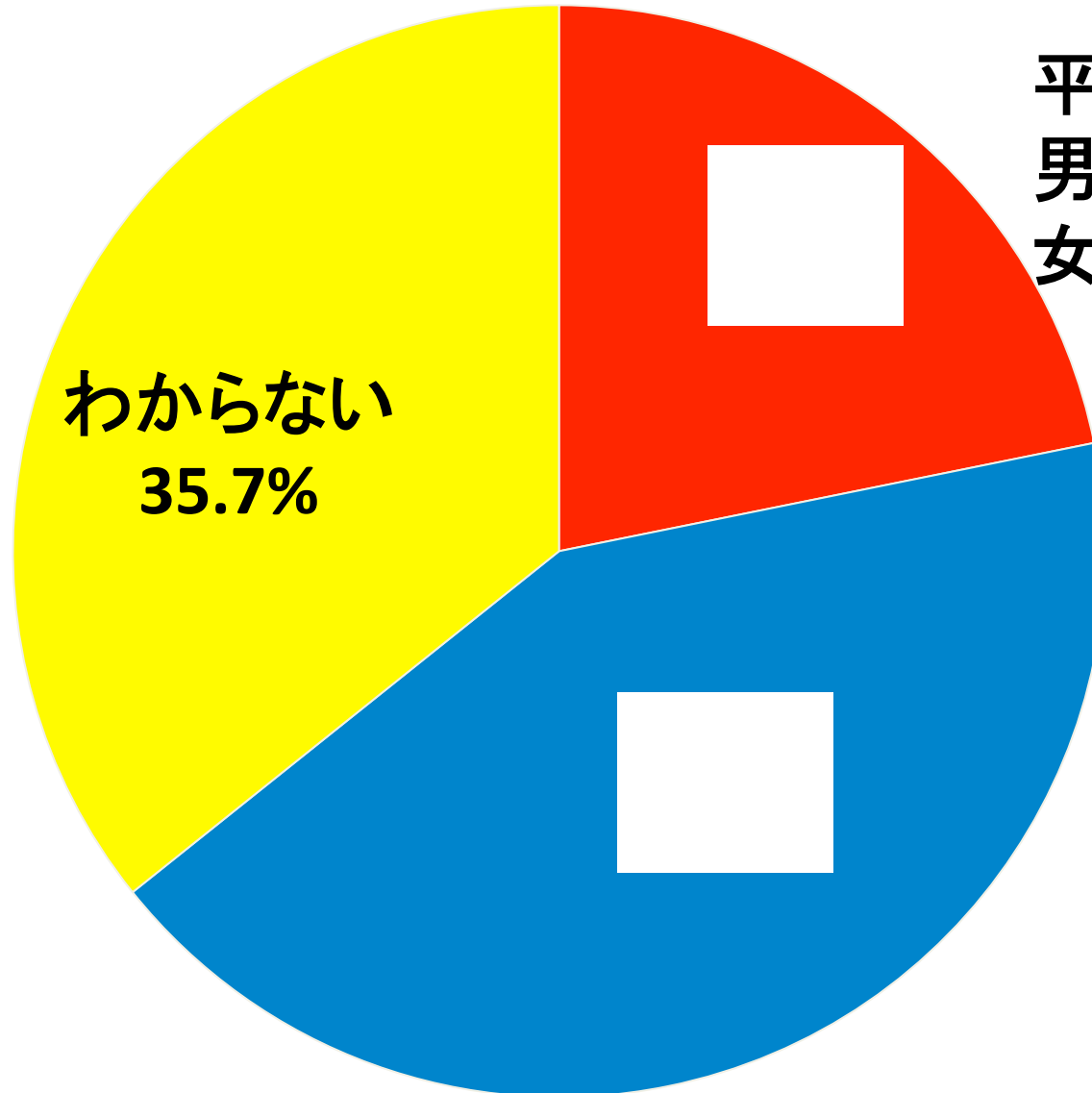
紹介先の主な施設	岡山大学病院産婦人科 岡山二人クリニック, 三宅医院など
紹介方法	病診連携(FAX) 医師間の電話, メールなど
がん診療施設からの 統一された情報提供書式	一部あり(乳がん)
県外からの紹介	しばしばある
妊孕性温存実施施設	紹介先と同一 生殖医療実施施設間で紹介
ネットワーク運用資金	研究費 など
ネットワークHome Page ・開設資金	作成中 研究費

ネットワークの運営体制(2)

妊孕性温存に関する 情報提供内容	独自資料あり(乳がん) + 医療者の裁量
症例の情報	各施設で管理 (乳がん前方視調査参加者は、登録)
施設間の交流方法 (患者紹介以外)	非定期の研修会開催
行政の関与	なし(岡山大学内の岡山県不妊専門相談センターでの相談)
ネットワークの特徴	基幹病院中心に運営
ネットワークの課題	一元的な患者情報の把握が困難

看護スタッフにおける
悪性腫瘍患者の妊孕性温存
に関する認知度

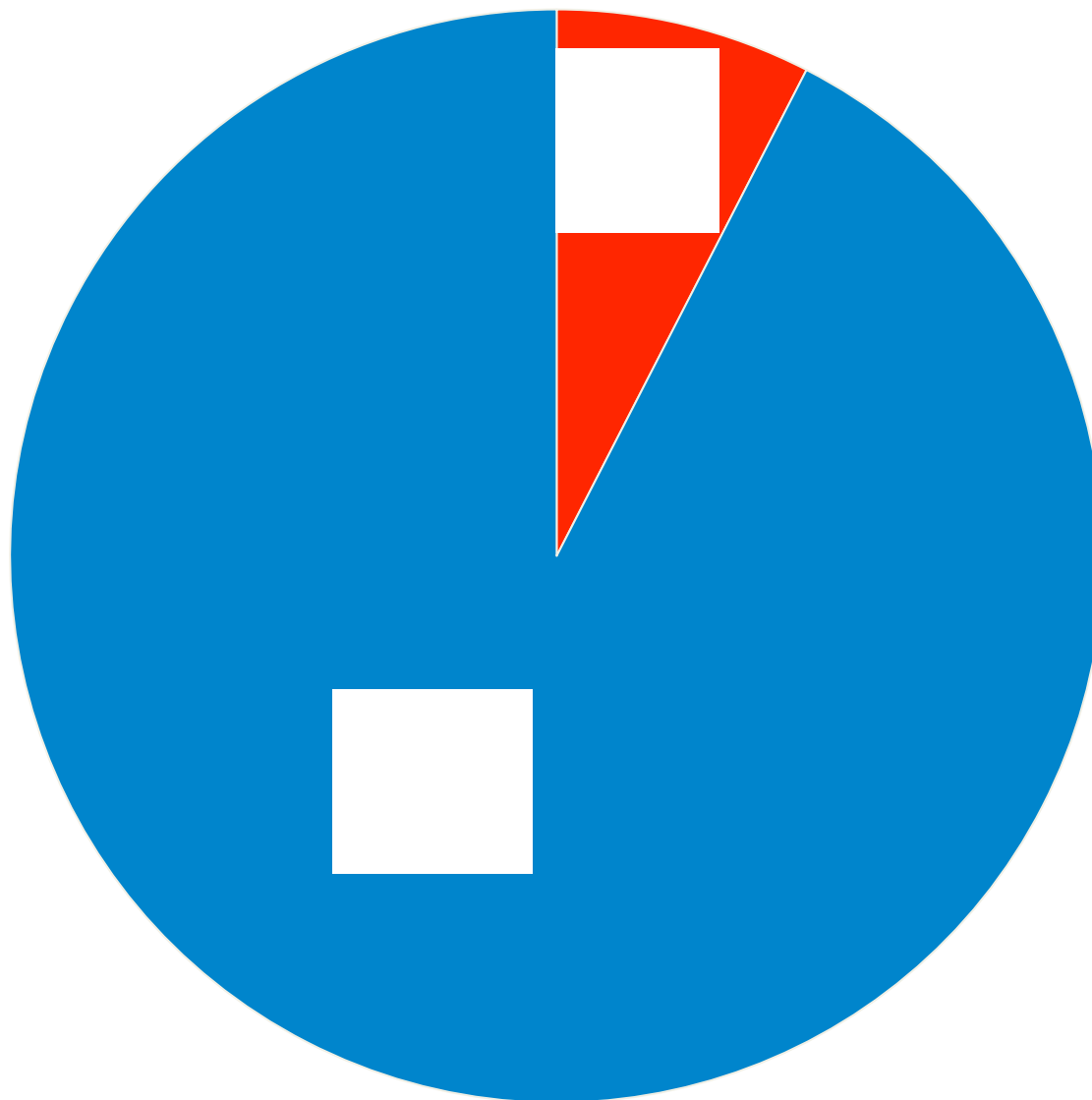
今までの勤務経験の中で、悪性腫瘍等の患者で 生殖機能温存の対象になる人がいたか？



平均
男性:約4.1人
女性:約4.9人

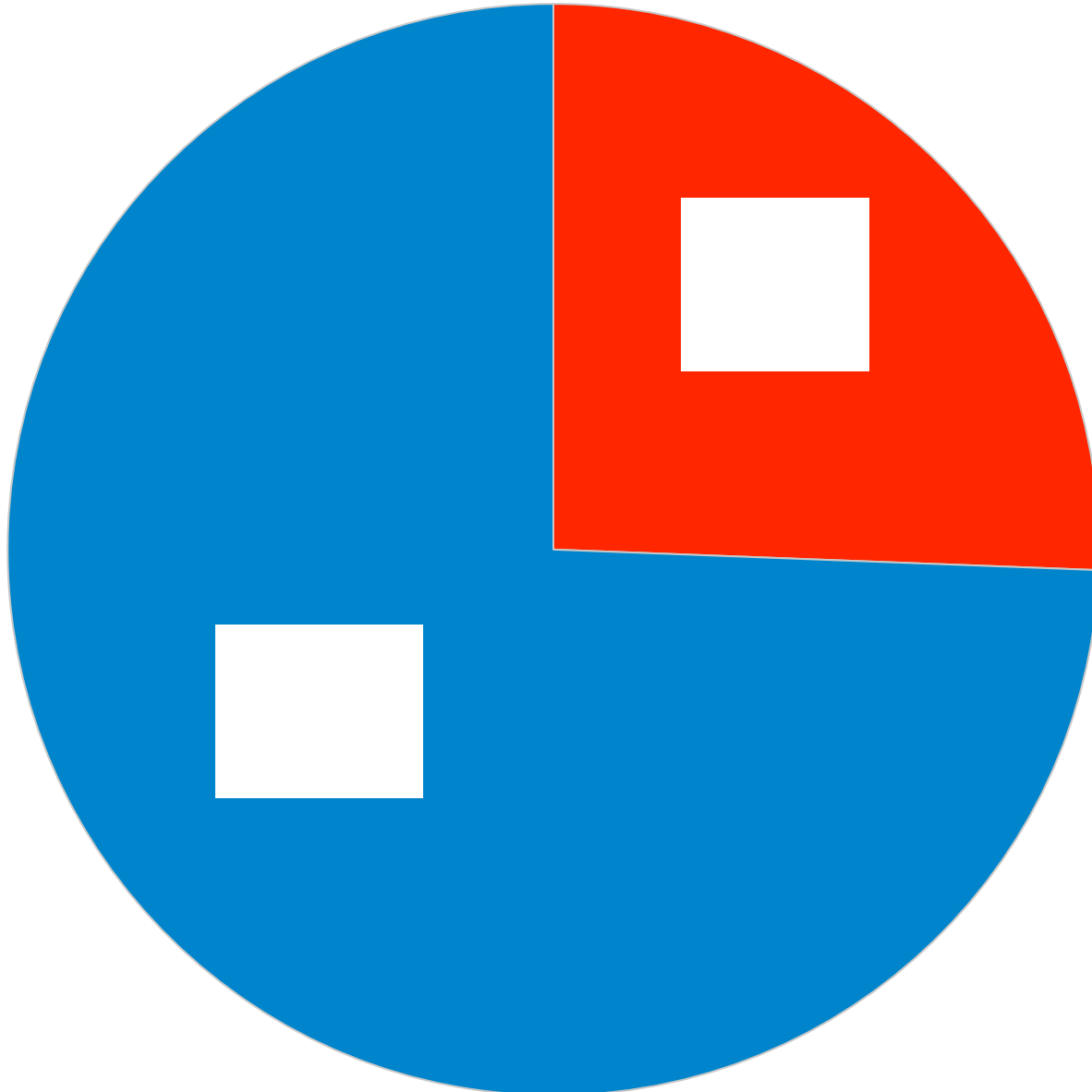
(N=795)

今までの勤務経験の中で、悪性腫瘍等の患者から
生殖機能温存について相談を受けたことがあるか？



平均
男性：約3.9人
女性：約8.1人

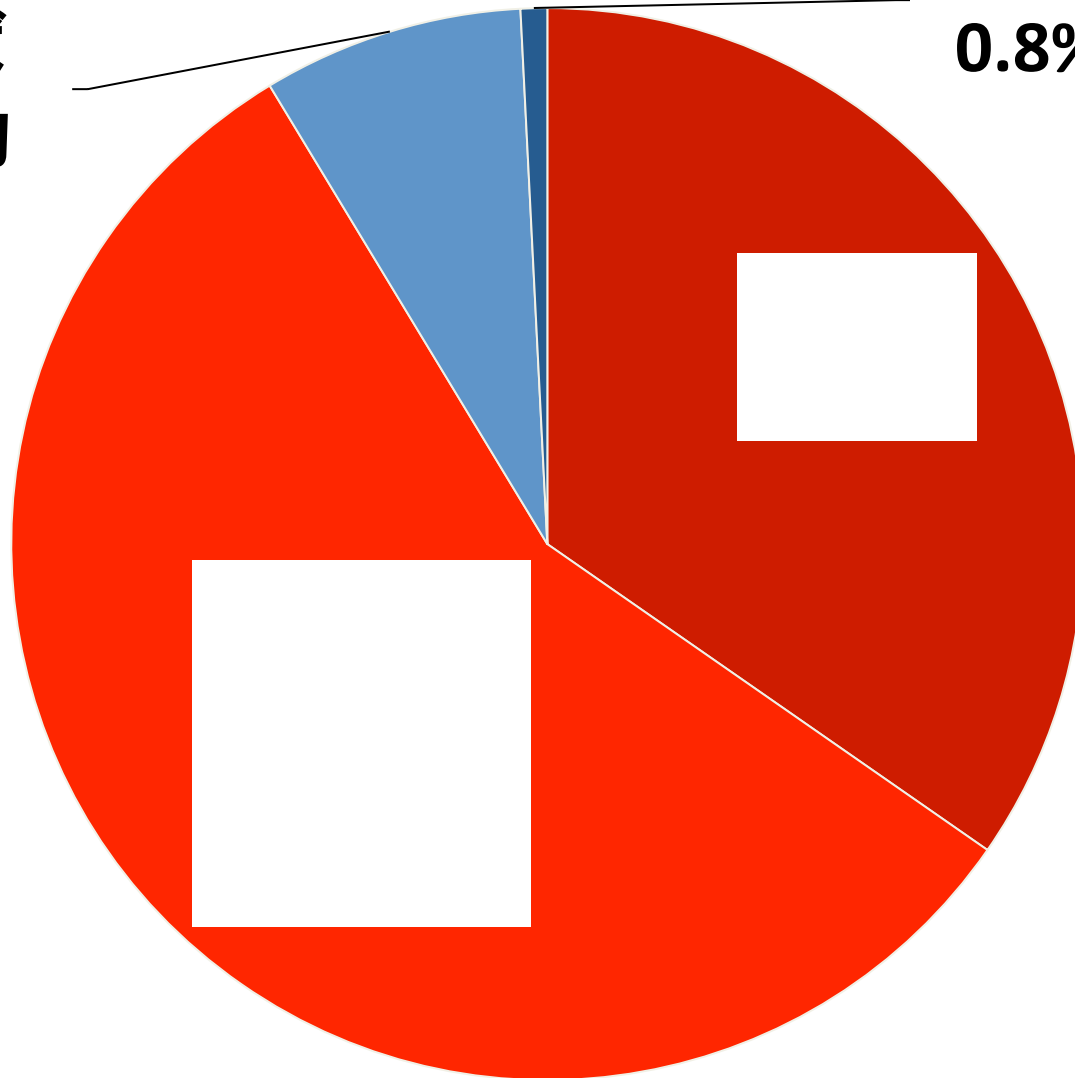
岡山県内に生殖機能温存を行うことができる施設があることを知っているか？



悪性腫瘍等の患者が生殖機能温存 を行うことについて

どちらかと
いえば
否定的
7.9%

否定的
0.8%



自身が20-30代の独身で悪性腫瘍等の
治療が必要となった場合
生殖機能温存を行いたいのか？

